

**平成 22 年度 福井県立大学大学院**  
**経済・経営学研究科博士前期課程**  
**入学者選抜試験問題(第 1 次)**  
**専門科目**  
**経済政策・経済史・経営各論・会計分野**

以下の問 1～問 4 の中から 1 問を選んで解答しなさい。

**問 1 (経済政策)** GATTのウルグアイ・ラウンドからWTO体制に移行し、国際貿易に関する国際ルールが大きく変わったが、この変化は、発展途上国にとって如何なる意味を持つかを述べなさい。

**問 2 (経済史)** 近世の商家について説明せよ。

**問 3 (経営各論)** 以下の問題のうち、いずれか 1 題を選び、解答せよ。

- (1) 今日の経営戦略には、大きくポジショニング・ビューとリソース・ベースト・ビューの 2 つの潮流があるといわれる。この 2 つの見方についてあらましを説明し、なぜそれらが 2 大潮流になるかの理由についても述べよ。
- (2) マーケティングで 4 P ということがいわれる。また、4 C ということもいわれる。両者の内容を説明し、どのような点で違いがあるかについても述べよ。
- (3) 企業経営において人と組織のあり方はきわめて重要なことである。では、今日の企業をとりまく情勢の下で、人と組織のあり方には、どのようなことが要請されているか。より具体的には、組織成員にやる気を出させ、企業に成果をもたらすには何が必要か。また、企業側としては、実際にどのような方策をとっているか。これらについて、自らの知るところや考えを述べよ。

**問 4 (会計)** 以下の (1) (2) のうち、いずれか 1 題を選び、解答せよ。

- (1) 最近、国際会計基準のコンバージェンスとアダプションが話題になっているが、その理由を考察しなさい。
- (2) 活動基準原価計算と直接原価計算の下では、それぞれ異なる利益管理が展開されることになる。利益管理の視点から、二つの原価計算を比較論評しなさい。